

2021年10月18日
株式会社ミラテクドローン

「ドローンによる水管橋点検サービス」の提供開始 ～水道施設の老朽化による漏水・破損事故の増加に対応～

株式会社ミラテクドローン（本社：東京都品川区、代表取締役社長：佐々木 康之、以下、ミラテクドローン）は、近年、問題となっている水道施設の老朽化を点検する「ドローンによる水管橋点検サービス」を10月18日より開始します。

日本では、1960年～1970年頃にかけて整備された水道施設が老朽化を迎えており、最近では、年間2万件を超える漏水・破損事故が発生しています。特に、法定耐用年数（40年）を超えている水道管の割合は17.6%で、今後、さらに増加することが必至の状況です。（出典：平成30年度水道統計）加えて、ミラテクドローンでは、2021年10月3日に発生した和歌山市における水管橋の一部が破損、落下する事故を受け、今後、国内に多数存在する同様の水管橋の点検が急務と考え、サービス提供体制を整え、本サービスの提供開始に至りました。

ミラテクドローンでは、2020年2月に堺市上下水道局、また、それ以前にも複数の自治体の水道局が参加して、ドローンを用いた水管橋点検の実証実験を実施しています。その結果をもとに、管外面の亀裂や塗装の剥がれ、錆の状況、橋梁のコンクリートのひび割れ等を的確に把握できることが実証されており、実用化を進めてきました。これにより、これまで、川岸から肉眼で行ってきた水管橋の点検を、ドローンに搭載したカメラから、近接で詳細に撮影・記録することが可能となります。

また、本サービスは、株式会社リアルグローブ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大畑 貴弘、以下、リアルグローブ）が開発したソフトウェア「Hec-Eye」の機能を活用することにより、リアルタイムで配信されるドローンからの映像を、水管橋や橋梁の劣化診断の専門家が、事務所等の遠隔地から診断するとともに、発見した劣化が疑われる部分については、必要に応じて高精細な画像を様々な角度から撮影し、その場所を地図上に登録、閲覧することが可能です。

本サービスは、全国の自治体の水道局や水管橋を管理する事業者等を対象に、ミラテクドローン、ならびに、全国のパートナー会社のパイロットを派遣し、実施します。

【本サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社ミラテクドローン

事業戦略部 蕨内、川崎

TEL : 03-5496-5851

URL : www.miratecdrone.co.jp

— 記 —

サービス名： ドローンによる水管橋点検サービス

提供開始日： 2021年10月18日

内容： 水管橋における管外面の亀裂や塗装の剥がれ、錆の状況、橋梁のコンクリートのひび割れ等をドローンにより近接し、詳細に撮影、記録するサービス、また、リアルタイムでドローンからの映像を伝送し、劣化部分については詳細に画像を撮影、その場所を地図上に登録、閲覧するサービス

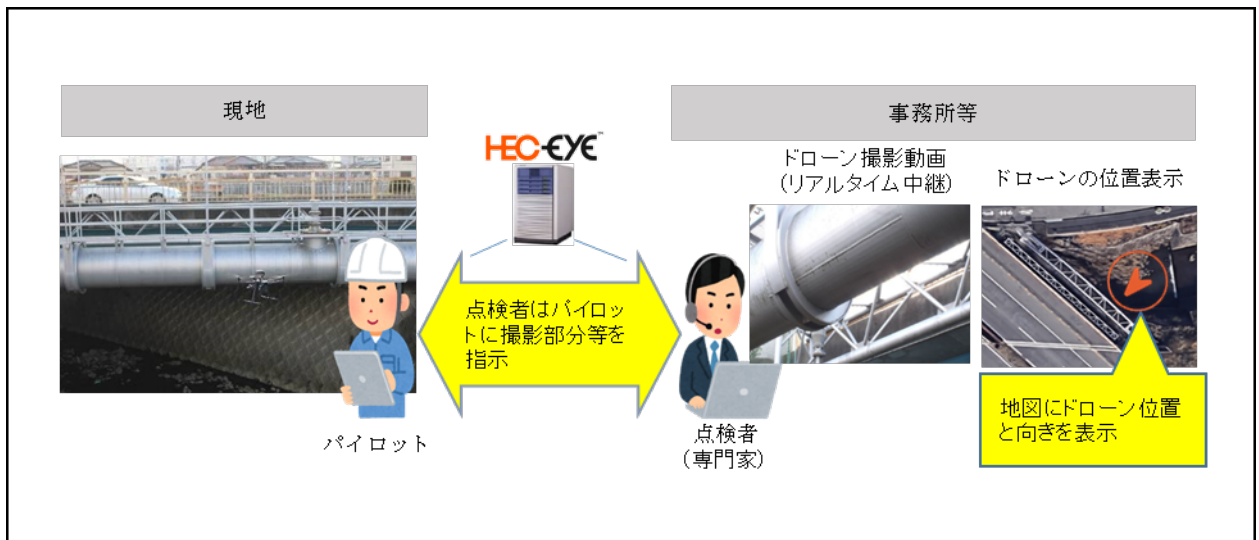
提供価格： 水管橋の規模、周辺の状況により、個別に見積もり



ドローンからの撮影・記録した水管橋



水管橋台座部分



リアルグローブが開発したソフトウェア「Hec-Eye(<https://hec-eye.realglobe.jp/>)」を利用した遠隔地の点検者（専門家）によるリアルタイム診断

以上